

2022年度

決算説明資料

株式会社ユー・エス・エス
2023年5月

2022年度（2023年3月期）：2022年4月1日～2023年3月31日

C E Oを務めております安藤でございます。

本日は大変お忙しいところ、「2022年度 決算説明会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

先程、事務局からご案内しましたとおり、質疑応答を皆様と双方向でやりとりできるシステムとなっております。

まずは、私から、決算説明資料に沿って説明し、その後、質疑応答に入ります。

時間の許す限り、できるだけたくさんのご質問をお受けしたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

それでは、資料の4ページをご覧ください。

目次



I : 2022年度 連結業績の概要	P.3	III : 市場環境認識と中期的な価値創造に向けた戦略	P.21
1. 2022年度 決算のポイント 2. 2022年度 連結業績概要 3. セグメント売上・利益の状況 4. 2022年度 営業利益増減分析（実績） 5. 連結貸借対照表・キャッシュ・フロー要約 6. 市場動向 7. オートオークションのセグメント 8. 中古自動車等買取販売のセグメント 9. リサイクルのセグメント 10. TOPICS GMS社との提携による新たなオートローン提供		1. オートオークション市場とUSSのシェア 2. 長期成長イメージ 3. ROE向上と中期計画 4. 財務と株主還元に関する基本方針 5. 株主還元：配当政策 6. 株主還元：総還元性向 7. 事業成長と株主還元による企業価値向上サイクル 8. ESGに関する取り組み	
II : 2023年度 通期連結業績予想	P.17	IV : ご参考	P.32
1. 2023年度 通期連結業績予想 2. 2023年度 営業利益増減分析（予想） 3. 2023年度 セグメント別売上予想		1. USSのビジネスモデル 2. 自動車市場とUSSの収益の関係 3. 新車・中古車登録台数とオートオークション市場の推移 4. 補足資料	

2022年度
連結業績の概要

2022年度 決算のポイント



通期実績

■ 売上高 887億円

(前期比109.0%)

■ 営業利益 437億円

(前期比105.3%)

- 出品台数295万台（前期比108.3%）、成約台数186万台（前期比104.3%）、成約率63.0%。
- 中古自動車等買取販売は、販売台数が増加するも粗利益の減少等により増収減益。
- リサイクルは、解体工事の受注件数が増加し増収増益。

2023年度 通期予想

■ 売上高 924億円

- 通期台数計画は、出品台数300万台、成約台数188万台、成約率62.7%

■ 営業利益 453億円

株主還元

■ 2022年度 1株当たり年間配当

67.5円（予定）

■ 2023年度 1株当たり年間配当

69.4円（予想）

※24期連続増配を目指す

- 配当に関する基本方針：19年度より連結配当性向を55%以上に引き上げ

■ 自己株式を取得

- 21/11～22/5まで509万株/96億円の自己株式を取得。

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

本日、ご説明のポイントは、3つでございます。

1つ目は、通期の連結業績でございます。

2022年秋以降、半導体や部品不足による新車不足が改善し、受注残（バックオーダー）の解消が進みました。中古車流通台数が増えたことで、中古車相場が下がり始めました。

オークション市場全体では出品台数は前期比105%、成約台数は102%となっております。

そのうち当社の出品台数は前期比108%、成約台数は104%となりました。

連結業績は、売上高および利益項目すべてで過去最高を記録いたしました。

2つ目のポイントは、通期の業績予想です。新車登録台数の回復が見込まれることから、売上高は前期比104%の924億円、営業利益は前期比103%の453億円を計画しております。

3つ目のポイントは株主還元です。

2022年度の1株当たりの年間配当金は、11月に公表したとおり67円50銭とし、株式上場以来23期連続増配の予定です。

また、2023年度の配当は、1円90銭増配の69円40銭を予想し、24期連続増配を目指してまいります。

2022年度 連結業績概要



- 売上高887.7億円（前期比109.0%）、営業利益437.7億円（前期比105.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益300.0億円（前期比100.9%）。
- 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を記録。

（単位：百万円）

	2021年度	（売上比）	2022年度	（売上比）	前期比	修正計画 11/8発表	（売上比）	計画比
売上高	81,482		88,778		109.0%	85,529		103.8%
売上原価	30,710	37.7%	35,135	39.6%	114.4%	32,459	38.0%	108.2%
売上総利益	50,772	62.3%	53,642	60.4%	105.7%	53,070	62.0%	101.1%
販売費及び一般管理費	9,197	11.3%	9,864	11.1%	107.3%	9,609	11.2%	102.7%
営業利益	41,574	51.0%	43,778	49.3%	105.3%	43,460	50.8%	100.7%
経常利益	42,374	52.0%	44,491	50.1%	105.0%	44,176	51.7%	100.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	29,745	36.5%	30,008	33.8%	100.9%	30,000	35.1%	100.0%

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

5

ご覧のスライドは、
決算のポイントでご説明しました2022年度の連結業績です。

先程申し上げました通り、
売上高、全ての利益項目で過去最高を記録いたしました。

セグメント売上・利益の状況



(単位：百万円)

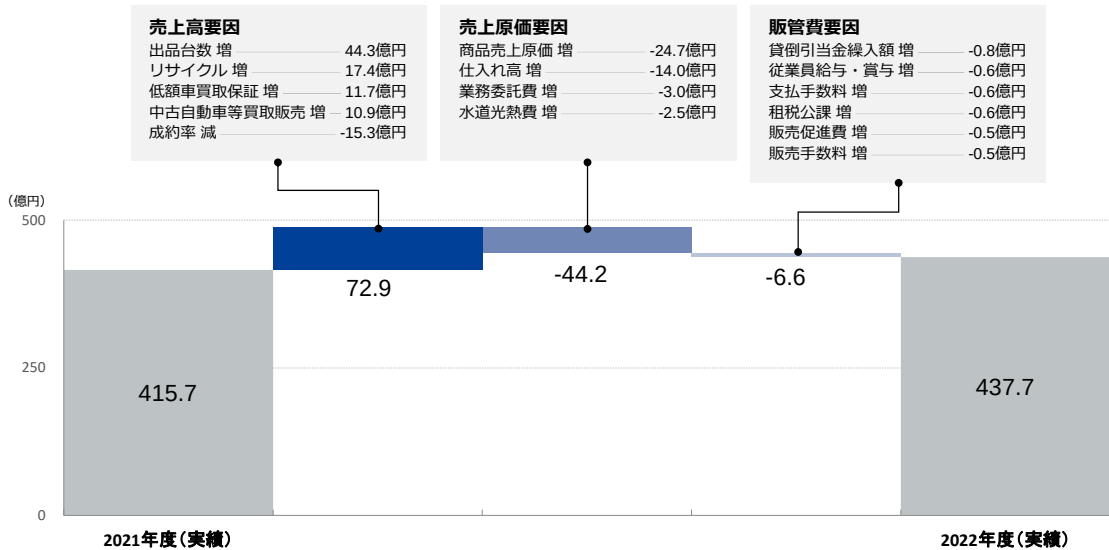
売上高	2020年度	2021年度	2022年度	前期比
オートオークション	61,048	64,858	69,304	106.9%
中古自動車等買取販売	8,646	9,300	10,391	111.7%
リサイクル	4,829	7,238	8,982	124.1%
その他	351	85	99	116.3%
合計	74,874	81,482	88,778	109.0%
営業利益（営業利益率）	2020年度	2021年度	2022年度	前期比
オートオークション	35,463 (57.7%)	40,217 (61.7%)	42,267 (60.7%)	105.1%
中古自動車等買取販売	271 (3.1%)	136 (1.5%)	130 (1.3%)	95.4%
リサイクル	376 (7.8%)	1,142 (15.8%)	1,333 (14.8%)	116.7%
その他	23 (6.8%)	58 (68.0%)	27 (28.0%)	47.9%
調整額	91 (-)	19 (-)	18 (-)	94.9%
合計	36,227 (48.4%)	41,574 (51.0%)	43,778 (49.3%)	105.3%

※1 売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。
※2 2022年度より、「その他」に含まれていた「リサイクル」を報告セグメントとし、2020年度、2021年度の数値は変更後の区分に基づき作成しております。

次に、セグメントごとの売上高・営業利益です。

各セグメントの詳細については後程ご説明いたします。

2022年度 営業利益増減分析（実績）



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

こちらは、営業利益の増減を前期と比較したチャートでございます。

まず、売上高の増加要因ですが、オークションの出品台数増加による手数料の増収に加え、プラントリサイクル事業において、大型解体案件の受注件数が増加したことがあげられます。

次に、低額車買取保証の増加ですが、USSでは、年式が古く、走行距離の多い低額車は、一部コーナーにおいて買取保証を入れたセリを行っております。スクラップ相場が上昇した影響で、低額車の買取保証単価も上昇いたしました。

また、売上原価要因にある、商品売上原価の増加ですが、低額車買取や中古車買取販売事業において、売却・販売台数が増加したことによるものです。

仕入れ高の増加要因は、プラントリサイクル事業での大型解体工事に係る取扱い高の増加によるものです。

業務委託費の増加要因は、オークション業務のうち、一部構内作業を外部委託しており、人件費が上昇したことによるものです。

また、販売管理費要因にある、貸倒引当金ですが、金融事業において引当金を積み増しいたしました。

連結貸借対照表・キャッシュ・フロー要約



- 投資活動によるキャッシュ・フローは主に有形固定資産の取得による支出と定期預金の増加。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは主に配当金の支払い。
- 自己資本比率は78.8%

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	2021年度	2022年度
流動資産	103,872	116,057
現金及び預金	79,380	92,692
その他	24,491	23,365
固定資産	125,481	126,295
有形固定資産	100,379	100,604
その他	25,102	25,690
資産合計	229,354	242,352

	2021年度	2022年度
流動負債	37,884	39,273
オークション 借勘定	21,213	22,595
その他	16,670	16,678
固定負債	8,996	8,925
負債合計	46,880	48,198
純資産合計	182,473	194,154
負債・純資産合計	229,354	242,352

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

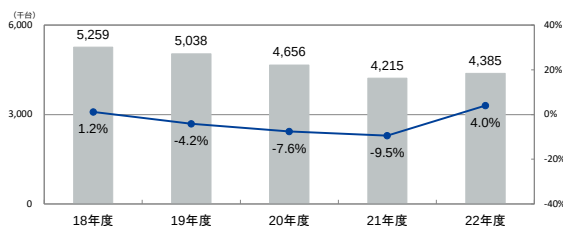
（単位：百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	38,407	36,630	36,907	277
投資活動による キャッシュ・フロー	-9,330	-1,339	-9,074	-7,735
フリーキャッシュ・フロー	29,076	35,290	27,832	-7,457
財務活動による キャッシュ・フロー	-15,035	-24,680	-17,121	-7,558
設備投資（支出ベース）	8,985	2,036	4,567	2,531
減価償却費	5,334	4,959	4,626	-333

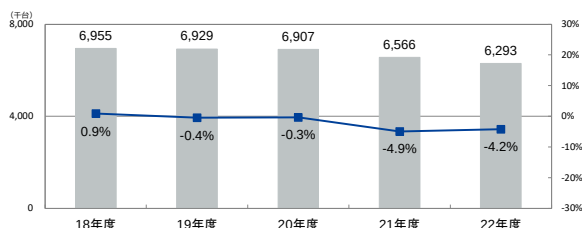
次に、連結貸借対照表でございますが、自己資本比率は78.8%と、引き続き、財務の安全性は高水準を維持しております。

市場動向

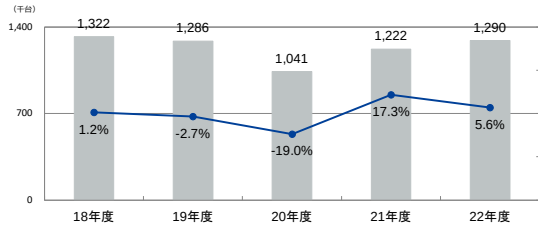
新車登録台数と前期比



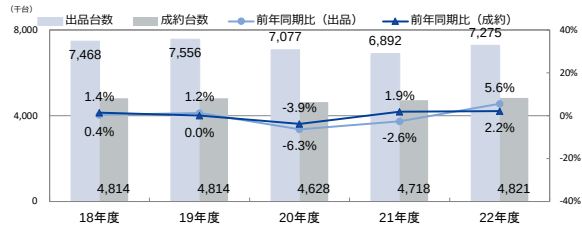
中古車登録台数と前期比



中古車輸出台数と前期比



AA市場 出品・成約台数と前期比



※(株)ユーストカーの公表数値の修正により、21年度のAA市場の出品・成約台数を適正修正しております。

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

ここからは、自動車流通市場の動向をご説明いたします。

新車や中古車の動向は、冒頭ご説明した通りでございます。

中古車輸出台数は、オートオークション市場全体の需要に大きく影響いたします。

今年度を通してみますとコンテナ不足が解消に向かうとともに、海上輸送費が下がったこともあり、輸出台数は129万台とコロナ禍前の水準までに回復しております。

オートオークションのセグメント① 概況

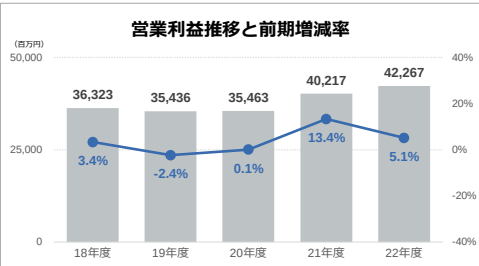
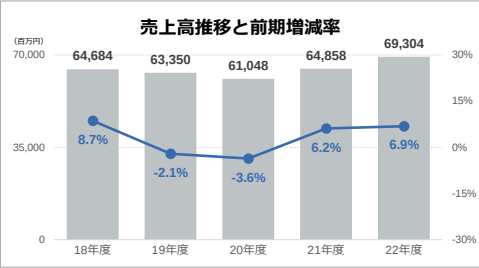


■ 出品・成約台数の増加などにより増収増益。

出品台数 295.8万台 前期比 108.3%	成約台数 186.3万台 前期比 104.3%	成約率 63.0% 前期実績 65.4%
--------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------

オートオークションのセグメント通期業績（累計）

	20年度	21年度	22年度	前期比
売上高	61,048	64,858	69,304	106.9%
出品手数料	14,151	15,198	16,570	109.0%
成約手数料	14,088	15,088	15,721	104.2%
落札手数料	21,573	23,076	23,985	103.9%
その他	11,234	11,494	13,027	113.3%
営業利益	35,463	40,217	42,267	105.1%
営業利益率	57.7%	61.7%	60.7%	-



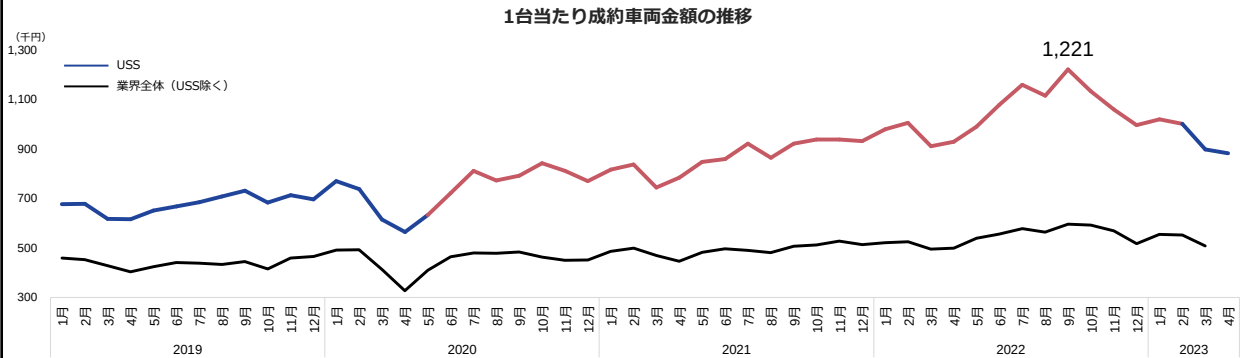
※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

ここからは、オークションのセグメントについてご説明申し上げます。

オートオークションのセグメント② 車両単価の推移



- 部品不足により新車供給不足 → 下取り車が減少 → 中古車の流通台数が減少
→ 需給がひっ迫 → オークション相場が高騰
- 1台当たり成約車両金額は2020年6月より2023年1月まで前年同期実績を上回る。
- 2022年9月をピークに車両単価は下がるも、高値水準は続いている。



※日本のオートオークションにおける出品・成約・落札の各手数料は、成約車両金額にかかわらず車種などのコーナー毎に一律（固定制）となっており、成約車両金額による手数料の変動はありません。

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

11

ご覧のスライドは、2019年1月からのUSSと、USSを除く業界全体の成約車両単価の推移になります。

2020年5月頃から、コロナ禍の影響で移動手段として中古車需要の高まり、世界的な半導体不足による新車の減産による中古車供給不足によりオークション相場が高騰し、1台あたりの成約車両金額は上昇しました。
車両単価は2020年6月から2023年1月まで連続で前年を上回っておりました。

また、足元の成約車両単価は、前年同月を下回っておりますが、コロナ前と比較しますとまだまだ高い水準にあります。

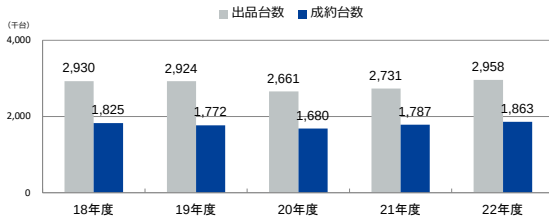
ご覧いただきますと、USSと、USSを除く業界平均の差ですが、2019年1月頃は20万円程度であったものが、2023年3月では、40万円程度まで開いております。

USSと業界平均価格差を見ますと、国内で小売向けといわれる3年落ち、5年落ちの比較的単価の高い中古車出品は、USSが圧倒的な競争力を持っているものと考えております。

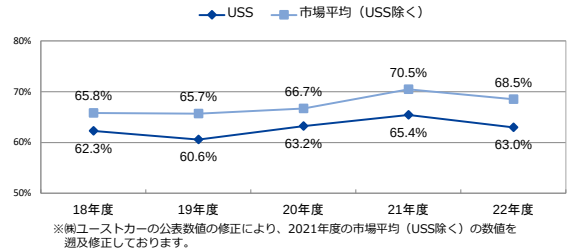
オートオークションのセグメント③ 出品・成約台数等



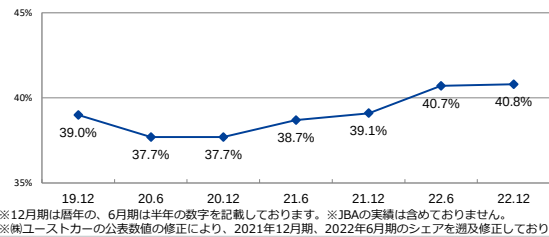
出品・成約台数の推移



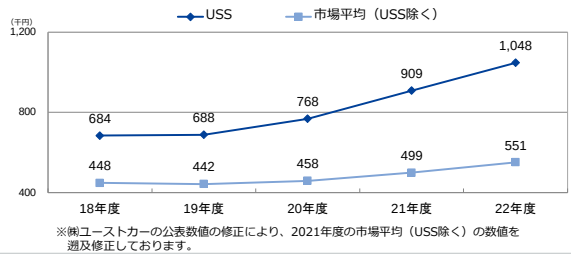
成約率の競合比較



出品台数市場シェアの推移



1台当たり成約車両金額の競合比較



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

12

こちらのスライドはオークション実績の推移についてご説明したものです。

左下の市場シェアの推移ですが、2022年のシェアは40%となっております。シェア増加の要因として3つあります。

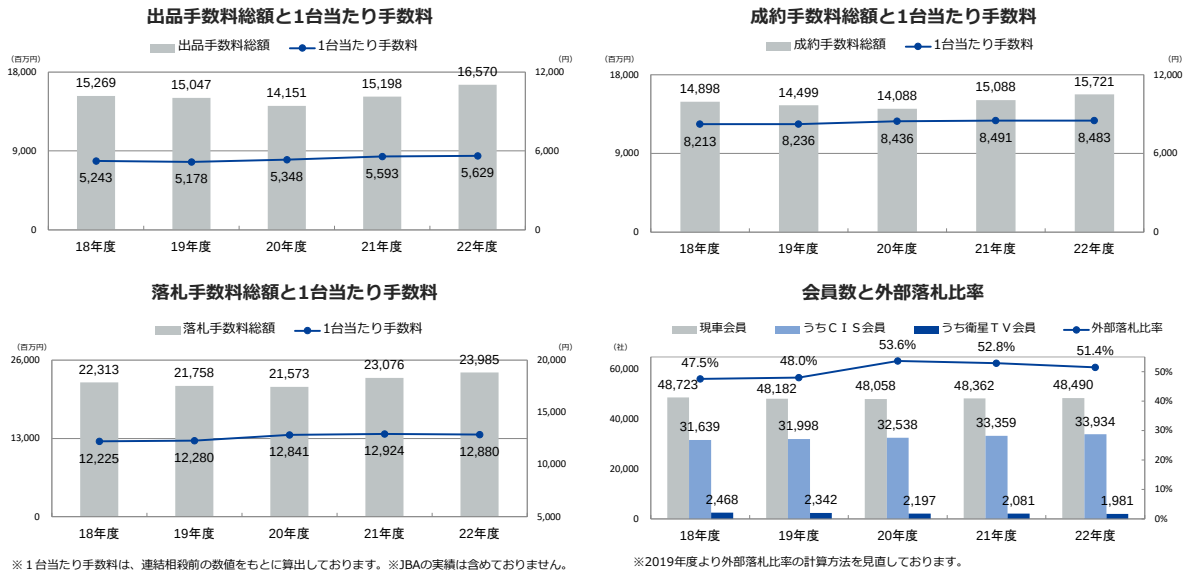
1つ目は、新車の代替需要として、高年式の比較的単価の高い中古車の需要が高まり、この価格帯はUSSが最も得意としていること。

2つ目は、新車販売の減少により、自動車メーカー系列のオークション会場のシェアが低下したこと。

3つ目は、前年と比較して、低額車の流通が減少し、低額車を中心に取扱う組合系オークションの出品が減少したことが挙げられます。

今後、新車販売が回復していけば、自動車メーカー系列オークションの出品が回復し、USSのシェアは低下する可能性もありますが、中古車流通台数が増加しますので、結果的に、USSも出品台数は増加していくものと考えております。

オートオークションのセグメント④ 手数料等



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

次に、手数料単価の推移についてご説明いたします。

1月に東京・名古屋会場にてほぼ全てのコーナーにおいて成約・落札手数料の値上げを実施いたしました。

また、それ以外の全ての会場で4月に値上げを実施しております。

1台当たりの出品手数料ですが、前期比36円プラスの5,629円となりました。主なプラス要因としては、名古屋会場で手数料単価の高いコーナーへの出品割合が増加した一方、東京会場などで単価の低いコーナーへの出品割合が減少したことによるものです。

次に、1台当たりの成約手数料ですが、前期比8円マイナスの8,483円となりました。主な要因としては、大口店への割り戻しが増加したことによるものです。

次に、1台当たりの落札手数料ですが、前期比44円マイナスの12,880円となりました。主な要因としては、外部落札比率が減少したことによるものです。

中古自動車等買取販売のセグメント



中古自動車買取専門店「ラビット」は、販売台数の増加や高額車両の取扱増により増収増益。

売上高 **6,187** 百万円
前期比 116.8%

営業利益 **110** 百万円
前期比 145.5%

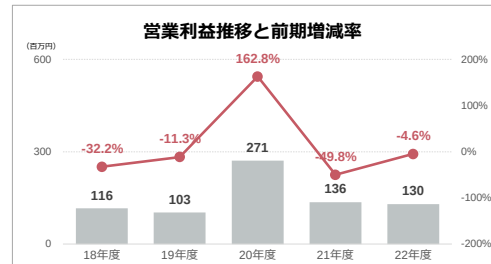
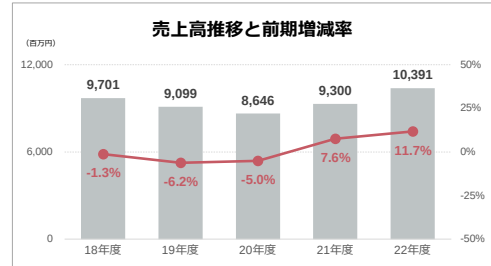
事故現状車買取販売事業は、販売単価・販売台数は増加するもオークション相場下落による粗利益の減少により増収減益。

売上高 **4,204** 百万円
前期比 105.0%

営業利益 **19** 百万円
前期比 32.4%

中古自動車等買取販売のセグメント通期業績（累計）

	20年度	21年度	22年度	前期比
売上高	8,646	9,300	10,391	111.7%
営業利益	271	136	130	95.4%
営業利益率	3.1%	1.5%	1.3%	-



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

14

ここからは、中古自動車等買取販売のセグメントについて、ご説明いたします。

ラビットですが、販売台数が増加し、高額車両の取扱いも増加いたしました。この結果、売上高は前期比116%の61億円、営業利益は前期比145%の1億1千万円と増収増益になりました。

事故現状車買取販売事業ですが、販売単価や販売台数が増加したものの、10月以降オークション相場が下落したことにより、粗利益が減少し、売上高は前期比105%の42億円、営業利益は前期比32%の1,900万円と増収減益になりました。

リサイクルのセグメント

資源リサイクル事業は、廃自動車の取扱台数減や金属スクラップ相場の影響による利幅減少により減収減益。

売上高 **5,056**百万円
前期比 94.5%

営業利益 **532**百万円
前期比 57.2%

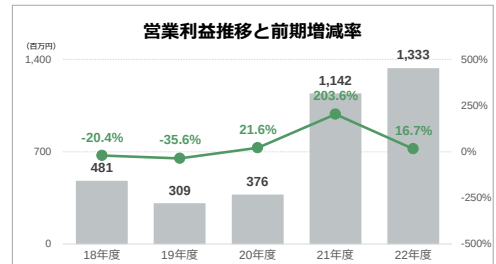
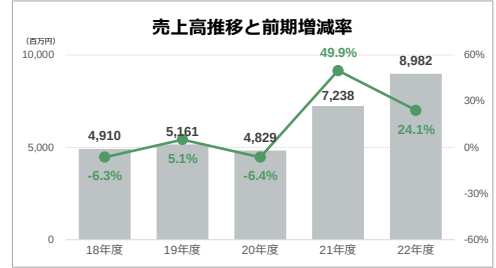
プラントリサイクル事業は、大規模解体工事の受注件数が増加したことにより増収増益。

売上高 **3,925**百万円
前期比208.2%

営業利益 **801**百万円
前期比378.5%

リサイクルのセグメント通期業績（累計）

	20年度	21年度	22年度	前期比
売上高	4,829	7,238	8,982	124.1%
営業利益	376	1,142	1,333	116.7%
営業利益率	7.8%	15.8%	14.8%	-



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

15

次に、リサイクルのセグメントについて、ご説明いたします。

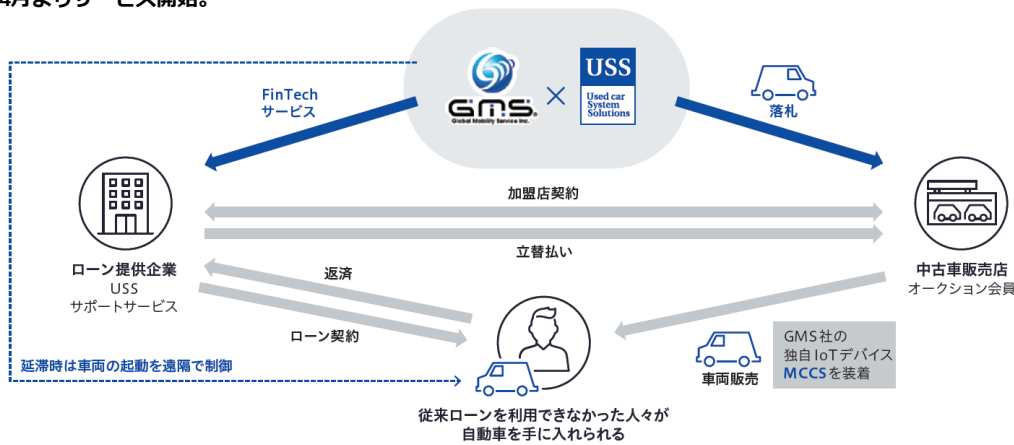
子会社のアビズが運営している資源リサイクル事業は、廃自動車の取扱台数が減少したことに加え、金属スクラップ相場の下落により、売上高は、前期比94%の50億円、営業利益は、前期比57%の5億円と減収減益になりました。

株式会社SMARTが運営しているプラントリサイクル事業は、大規模な解体工事の受注件数が増加いたしました。
この結果、売上高は前期比208%の39億円、営業利益は前期比378%の8億円と増収増益になりました。

TOPICS GMS社との提携による新たなオートローン提供



- 金融包摂型フィンテックサービスを提供するGlobal Mobility Service 株式会社（GMS 社）と資本業務提携。
- 新たなオートローンを開始。さまざまな理由でローンを利用できない人が車を保有できるようになります。
- これによって中古車を購入する人を増やし、オートオークションの活性化にもつなげていきます。
- 2023年4月よりサービス開始。



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

16

次に、グローバル・モビリティ・サービス社（通称：GMS 社）との資本業務提携の進捗についてご説明いたします。

先ず、業務提携内容ですが、自動車ローンの審査が通りにくいフリーランスの方、入社年数の浅い方、過去に滞納履歴がある方、国内に定住する外国人の方に、USSのオークション会員である中古車販売店を代理店として、オートローンを提供していくものであります。

ローンを滞納すると、エンジンを始動できなくします。滞納が解消すると、エンジンが始動するフィンテックサービスを提供しているのが、GMS 社です。

当社は、このGMS 社に10億円を出資し、国内におけるMCCSの独占販売権を獲得し、両社でタッグを組んで、USSのオークション会場で代理店募集活動を行っております。

先月、2023年4月から本格的にオートローンの申し込みを開始しましたところ、4月だけで加盟店が150件、オートローンの申し込みは200件を超えており、潜在的なニーズに合致した商品・サービスであったと確信しております。

2023年度 通期連結業績予想

2023年度 通期連結業績予想



- 新車販売台数の回復が見込まれる。
- USSは会員の利便性向上・サービスの強化を図り、出品台数を確保。オートオークション業界におけるシェア向上を目指す。

	(単位：百万円)			
	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (計画)	前期比
売上高	81,482	88,778	92,400	104.1%
売上総利益 (売上比)	50,772 (62.3%)	53,642 (60.4%)	55,230 (59.8%)	103.0%
営業利益 (売上比)	41,574 (51.0%)	43,778 (49.3%)	45,300 (49.0%)	103.5%
経常利益 (売上比)	42,374 (52.0%)	44,491 (50.1%)	46,000 (49.8%)	103.4%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上比)	29,745 (36.5%)	30,008 (33.8%)	30,800 (33.3%)	102.6%
1株当たり当期純利益 (円)	119.80	122.69	125.92	102.6%
設備投資(支出ベース)	2,036	4,567	4,400	96.3%
減価償却費	4,959	4,626	4,701	101.6%
オートオークション事業(JBA除く)	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (計画)	前期比
出品台数 (千台)	2,731	2,958	3,000	101.4%
成約台数 (千台)	1,787	1,863	1,880	100.9%
成約率	65.4%	63.0%	62.7%	-

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

18

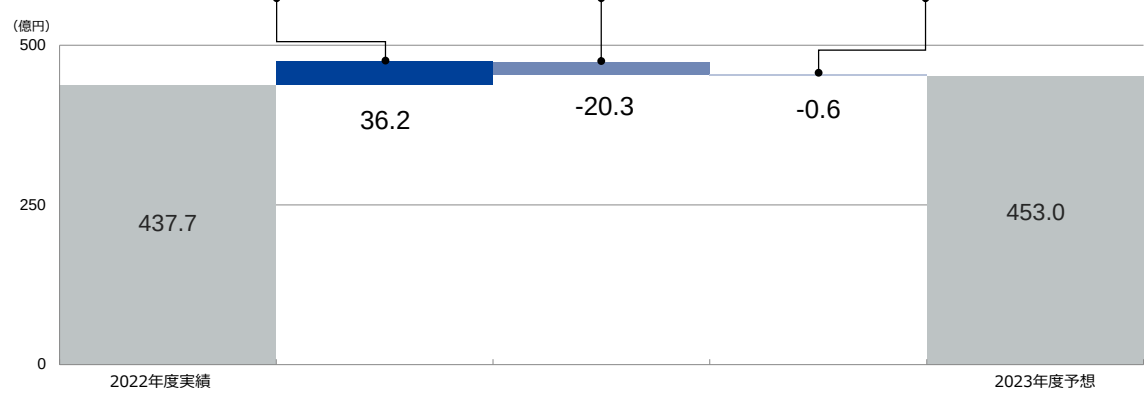
ここからは、通期業績予想についてご説明いたします。
当社は会員向けサービスを強化することにより出品台数を確保し、オートオークション業界におけるシェア向上が、成長の基本戦略であると考えております。

2023年度の業績予想は
売上高は、前期比 104%の924億円
営業利益は、前期比 103%の453億円
経常利益は、前期比 103%の460億円
親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比 102%の308億円を計画しております。

2023年度 営業利益増減分析（予想）



売上高要因	売上原価要因	販管費要因
手数料単価 増 12.3億円	仕入れ高 増 -10.4億円	通信費 増 -0.3億円
リサイクル 増 9.6億円	消耗品費 増 -2.4億円	広告宣伝費 増 -0.2億円
出品台数 増 7.8億円	従業員給与・賞与 増 -2.1億円	
中古自動車等買取販売 増 4.2億円	商品売上原価 増 -1.5億円	
	業務委託費 増 -1.3億円	



2023年度 セグメント別売上予想



(単位：百万円)

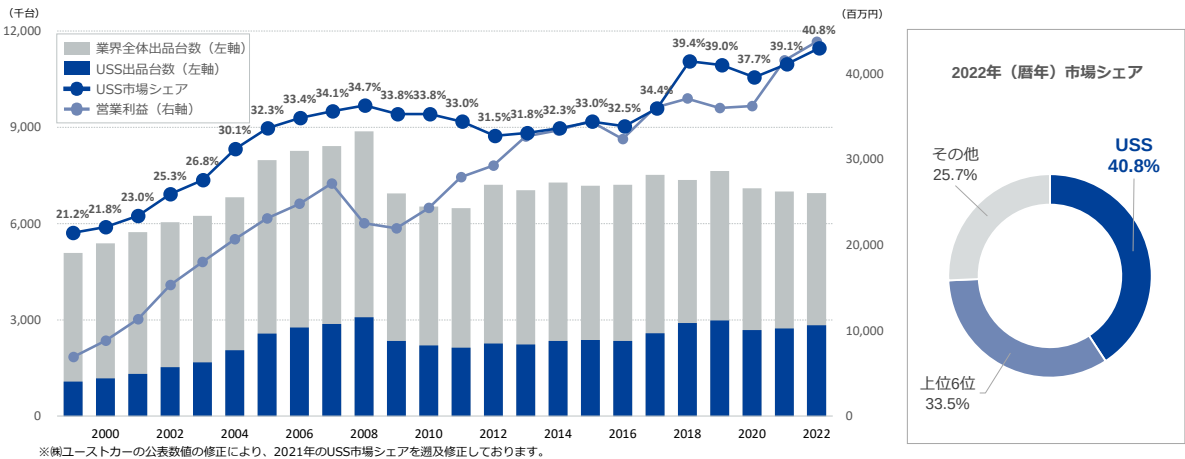
	2021年度（実績）	2022年度（実績）	2023年度（計画）	前期比
売上高				
オートオークション	64,858	69,304	71,189	102.7%
中古自動車等買取販売	9,300	10,391	10,820	104.1%
リサイクル	7,238	8,982	9,952	110.8%
その他	85	99	438	440.3%
合計	81,482	88,778	92,400	104.1%
営業利益 (売上比)	41,574 (51.0%)	43,778 (49.3%)	45,300 (49.0%)	103.5%

市場環境認識と中期的な価値創造に向けた戦略

オートオークション市場とUSSのシェア



- 金融危機(2008-2009年)以降、市場が伸び悩む中でも高シェアを維持しながら利益を拡大。
- EV化や自動運転の普及などにも対応し、さらに市場シェア拡大を目指す。



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

22

ここからは市場環境と中期的な取り組みについてご説明いたします。
まず、1990年から現在に至るまでの市場シェアの推移でございます。

長期で見ますと、USSの市場シェアは、堅調に成長してきたことがご理解いただけると思います。

自動車業界は、100年に一度の変革期と言われておりますが、USSは、電気自動車、自動運転の普及などにも対応し、更に市場シェアを拡大することで、安定成長していきたいと考えております。

今後、EV車の普及に備え、準備を進めてまいります。EV車の評価を行うため、バッテリーの劣化診断が重要になります。
そのため、当社では機材（デバイス）の開発に他の企業とともに取り組んでまいります。

長期成長イメージ



- 循環型社会への貢献を高めながら、事業を拡大。

2050年に向けてもう一つの
柱となる事業を育成していく

事業規模拡大

リサイクル事業
など

安定収益の確保

オートオークション
事業

2050

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

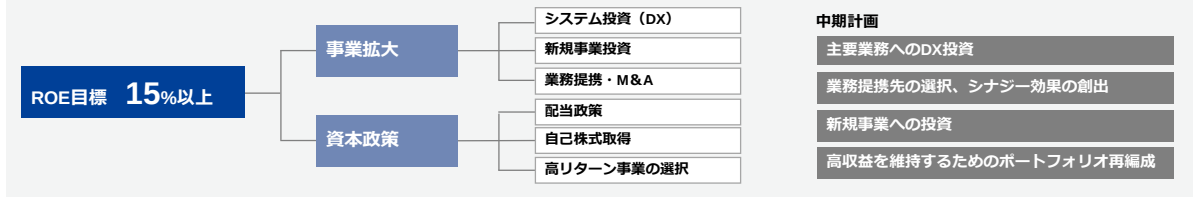
23

ご覧のスライドは当社の長期成長イメージです。
安定的な収益源であるオークション事業を核に、リサイクル事業などの規模
拡大に取り組んでいきます。

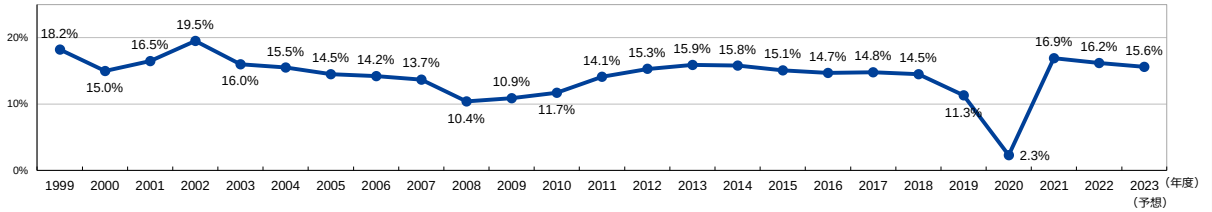
ROE向上と中期計画

- 株主資本利益率（ROE）：中期的に15%以上の水準維持を目指す。

ROE向上と中期計画のアクション



ROEの推移



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

24

ご覧のスライドは、USSの「事業拡大」と「資本政策」について、中期的にROE15%以上の水準を目指すためのテーマや中期計画を記載しております。

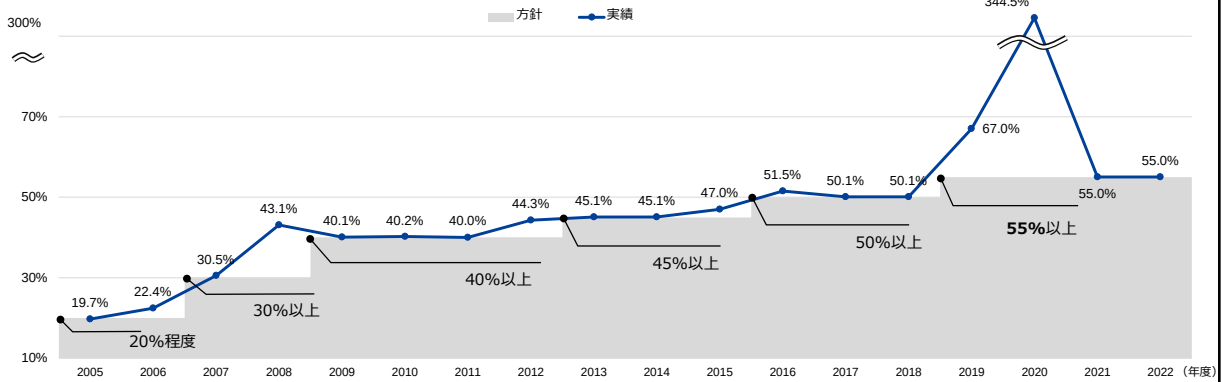
また、昨年に改定した役員報酬制度では、単年度の役員賞与や、中期的な株式報酬について、業績連動指標の1つとして、ROE 15%を達成率100%として連動する制度に改定いたしました。

これは、経営陣の、ROEを15%以上に向けたコミットであり、こだわりたい数値であります。

財務と株主還元に関する基本方針①

- 成長投資とともに株主還元の充実を継続。
- 連結配当性向：2019年度より55%以上に引き上げ。

連結配当性向の推移



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

25

今後の株主還元に関する基本方針についてご説明します。
 まず、配当に関する基本方針ですが、これまで段階的に連結配当性向の数値の引上げを行っており、2019年度からは55%以上としております。

財務と株主還元に関する基本方針②



- 自己株式取得：キャッシュ・フロー、設備投資計画、市場環境等を考慮のうえ、機動的に実施。
- 2021年11月～2022年5月にて自己株式取得。
- 2022年6月30日付けで自己株式5,625万株を消却。
自己株式の発行済み株式総数に対する割合は4.81%（2023年3月末現在）。

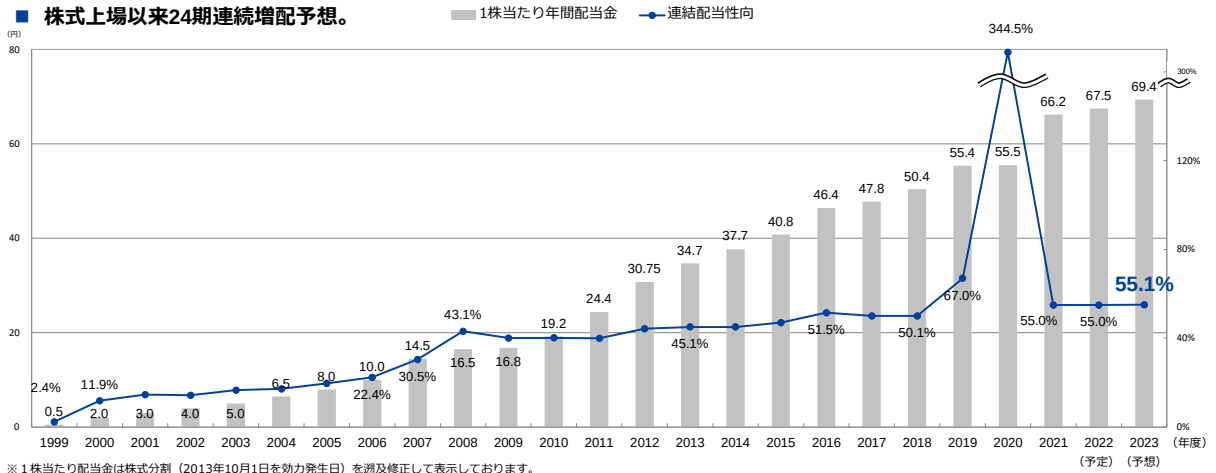
直近の自己株式取得状況

取得株式の種類	当社普通株式
取得期間	2021年11月9日～2022年5月31日
取得株式の総数	5,098,500株
取得価額の総額	9,605,031,800円
取得方法	市場取引

2021年11月から2022年5月まで、509万株、96億円の自己株式取得を実施しました。

株主還元：配当政策

- 2022年度の1株当たり年間配当金：67.5円（前期比1.3円増）を予定。
- 2023年度の1株当たり年間配当金：69.4円（前期比1.9円増）を予想。
- 株式上場以来24期連続増配予想。



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

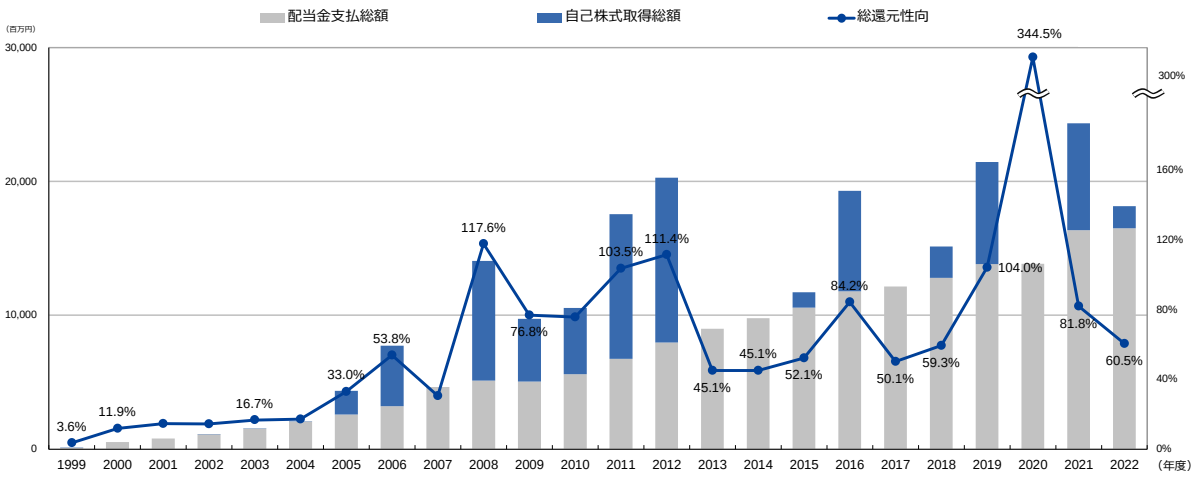
27

こちらのスライドは、株式上場以来の配当の推移でございます。
冒頭でご説明のとおり2022年度の1株当たり配当金は、前期から1円30銭増配の67円50銭を予定しております。これで23期連続増配となります。

2023年度の年間配当は、前期から1円90銭増配の1株当たり69円40銭を計画しており、24期連続増配を目指しております。

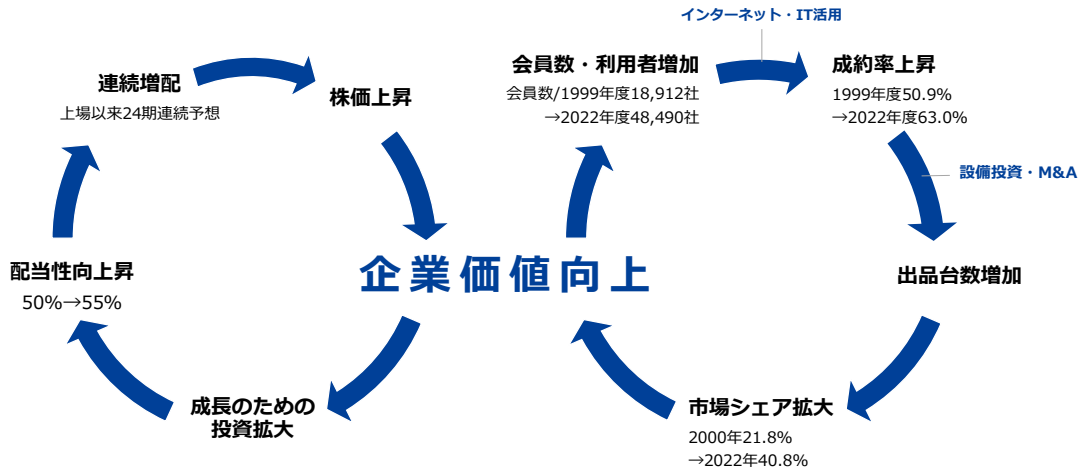
株主還元：総還元性向

■ 安定的な配当とともに、機動的な自己株式取得。



事業成長と株主還元による企業価値向上サイクル

- 成長投資と株主還元の両輪で株主価値の向上を目指す。



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

29

当社の成長と株主還元に対するイメージ図になります。

どちらか1つではなく、2つの輪を回して、USSの企業価値向上に取り組んでまいります。

ESGに関する取り組み



■ 持続的な成長に向けて、着実にESGの取り組みを推進。

環境

■ TCFD提言への対応

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に基づき、気候変動に関する情報を開示。

2030年度CO2削減目標（対2021年度）

スコープ1・2排出量（t-CO2）

42%削減

スコープ3排出量（t-CO2）

25%削減

※SBTイニシアチブによる認定を現在申請中

社会

■ 女性活躍推進に向けた研修

管理職層と女性社員のそれぞれに対し、組織づくりや働き方改革に関する研修を実施。女性管理職比率は2025年度に5%、2030年度に10%を目指す。

研修開催実績

対象	参加人数
管理職層	約 60 名
女性社員 （管理職候補）	約 50 名

ガバナンス

■ 報酬制度を改定

持続的な成長に向けた健全なインセンティブを機能させることを目指して報酬制度を改定。業績連動型株式報酬は、TSR・ROE実績やESGに関する外部評価に連動。

■ コーポレートガバナンス・コード改定版への対応

各原則をすべて実施。

ESG情報の詳細は、統合報告書をご覧ください。<https://www.ussnet.co.jp/ir/library/annual/>

最後に、当社のESGに関する取り組みについてです。

2030年度のCO2の削減目標は、ご覧のとおりでございますが、現在、SBTイニシアチブにより認定の申請中であります。

また、女性活躍に向けた人事制度の改定や、コーポレートガバナンス強化に向けた透明性の高い報酬制度の運用など、今後とも持続的な成長を目指してESGの強化に努めてまいります。

IRに関するお問い合わせ

株式会社ユー・エス・エス
統括本部 総務部

電話 : 052-689-1129

E-mail : irinfo@ussnet.co.jp

<注意事項>

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提や予測を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨てて表示しております。
- 本資料の百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

出所

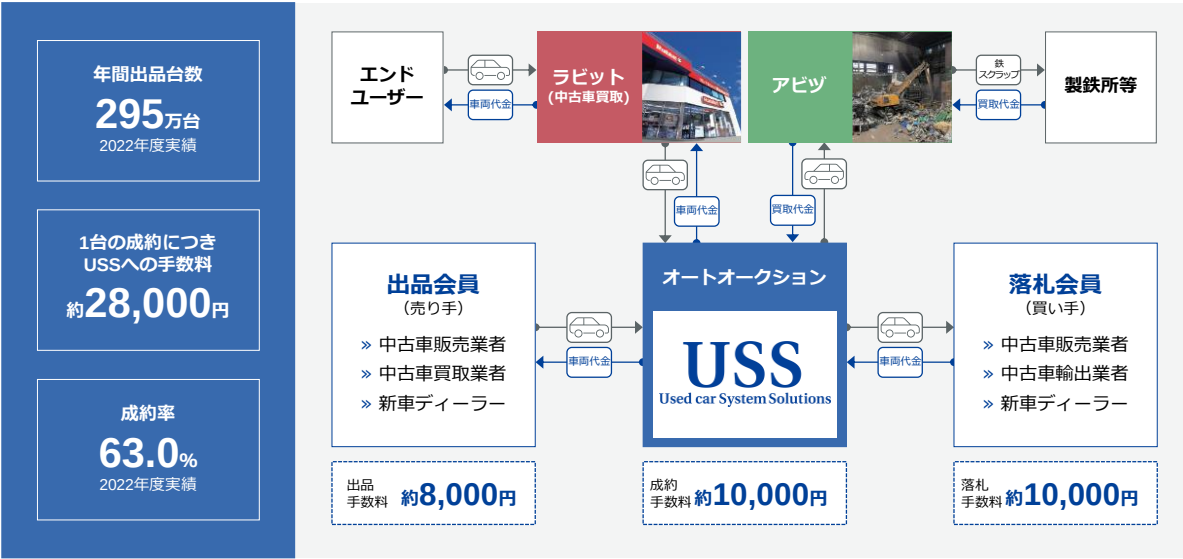
(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会、(株)ユーストカー、財務省貿易統計

最後となりますが、ご質問などがございましたら、こちらまでお問い合わせいただきますよう、お願いいたします。

私からの説明は以上となります。誠にありがとうございました。

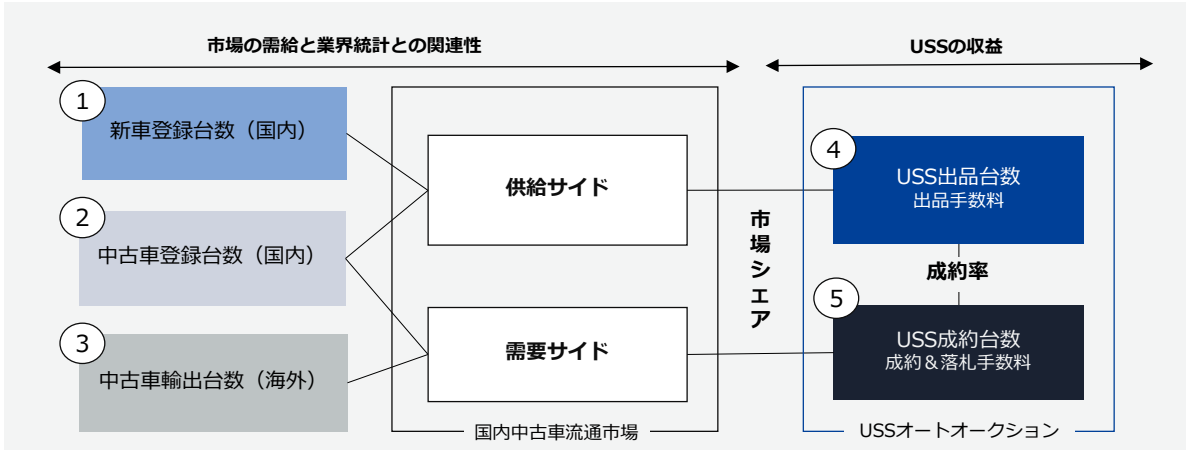
ご参考

USSのビジネスモデル



自動車市場とUSSの収益の関係

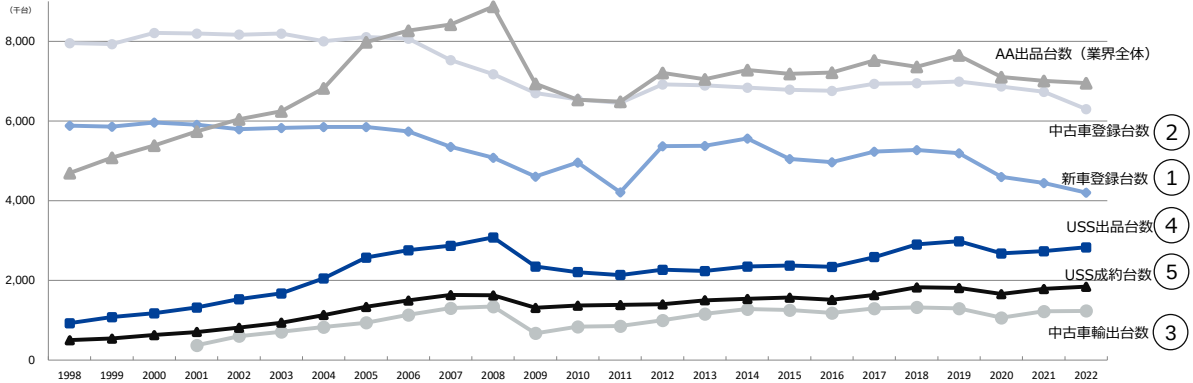
- オートオークション市場への中古車供給台数は、新車販売時の下取り車両台数の影響が大きく①新車登録台数と②中古車登録台数に連動。
- 需要サイドは国内外の中古車需要（②③）であり、近年は海外（輸出）が牽引。
- 上記市場要因に加え、オートオークション市場における市場シェア及び成約率が、USSオートオークションの収益変動要因となる。



新車・中古車登録台数とオートオークション市場の推移

- 2000年頃までは中古車流通におけるオークション利用率上昇により、オートオークション市場が拡大。
- 2000年代半ば以降は、低年式・多走行車などそれまで解体されていた車両がオートオークション会場へ流入し、オークション出品台数の増加が続いた。
- 金融危機（2008年後半）以降のオートオークション市場は新車登録台数（供給）と中古車輸出台数（需要）におおむね連動。

新車・中古車登録台数、中古車輸出台数とオークション出品・成約台数の推移（暦年）



Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

補足資料：オートオークション 会場別データ (4月から3月まで)



(単位：回、台)

	開催数		出 品 台 数			成 約 台 数			成 約 率	
	22年度	21年度	22年度	21年度	前期比	22年度	21年度	前期比	22年度	21年度
東京	48	49	721,989	666,861	108.3%	471,005	459,229	102.6%	65.2%	68.9%
名古屋	49	49	470,883	453,432	103.8%	272,258	266,162	102.3%	57.8%	58.7%
HAA神戸	49	49	276,221	224,703	122.9%	163,546	139,302	117.4%	59.2%	62.0%
九州	49	49	221,247	201,249	109.9%	144,109	132,213	109.0%	65.1%	65.7%
横浜	49	49	207,209	178,895	115.8%	133,862	121,518	110.2%	64.6%	67.9%
大阪	49	49	196,760	196,185	100.3%	112,127	113,646	98.7%	57.0%	57.9%
札幌	49	48	151,785	130,874	116.0%	103,695	93,079	111.4%	68.3%	71.1%
静岡	49	49	102,090	108,780	93.8%	59,287	67,204	88.2%	58.1%	61.8%
R-名古屋	49	49	99,651	100,577	99.1%	82,944	86,660	95.7%	83.2%	86.2%
神戸	49	48	93,351	81,851	114.0%	53,650	48,244	111.2%	57.5%	58.9%
JAA	49	48	73,502	72,381	101.5%	33,197	38,960	85.2%	45.2%	53.8%
岡山	49	49	70,189	64,490	108.8%	53,465	50,556	105.8%	76.2%	78.4%
東北	49	48	60,111	52,666	114.1%	45,904	42,371	108.3%	76.4%	80.5%
群馬	49	49	55,631	51,384	108.3%	36,187	35,841	101.0%	65.0%	69.8%
埼玉	49	49	49,229	46,379	106.1%	30,000	28,565	105.0%	60.9%	61.6%
新潟	49	48	48,634	48,081	101.2%	28,621	28,413	100.7%	58.8%	59.1%
福岡	49	48	40,416	35,007	115.5%	25,455	22,476	113.3%	63.0%	64.2%
北陸	49	49	19,700	17,874	110.2%	14,676	12,863	114.1%	74.5%	72.0%
合計	881	876	2,958,598	2,731,669	108.3%	1,863,988	1,787,302	104.3%	63.0%	65.4%

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

※JBAの実績は含めておりません。

補足資料：オートオークション 月次推移の詳細



(単位：台、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
出品台数	FY20	255,293	180,384	196,014	217,449	166,982	221,001	1,237,123	250,352	228,129	207,446	207,691	242,073	288,270	1,423,961	2,661,084
	増減率	-3.8	-27.4	-23.9	-13.0	-20.6	-3.6	-15.3	-1.0	-11.3	5.6	-1.8	-3.9	-1.7	-2.7	-9.0
	FY21	249,661	226,767	237,143	248,298	167,498	232,175	1,361,542	225,057	211,642	200,338	194,069	233,948	305,073	1,370,127	2,731,669
	増減率	-2.2	25.7	21.0	14.2	0.3	5.1	10.1	-10.1	-7.2	-3.4	-6.6	-3.4	5.8	-3.8	2.7
	FY22	274,614	198,401	238,574	223,724	173,070	247,861	1,356,244	249,529	266,158	229,030	225,117	282,743	349,777	1,602,354	2,958,598
	増減率	10.0	-12.5	0.6	-9.9	3.3	6.8	-0.4	10.9	25.8	14.3	16.0	20.9	14.7	16.9	8.3
成約台数	FY20	119,644	96,174	126,384	150,887	118,526	153,725	765,340	166,954	145,090	127,329	132,226	156,459	187,412	915,470	1,680,810
	増減率	-23.8	-36.1	-17.5	-2.0	-10.0	2.1	-14.7	6.7	-3.9	10.4	1.2	-1.0	14.3	4.6	-5.2
	FY21	152,866	145,088	151,456	156,301	113,210	157,678	876,599	153,735	147,200	130,978	130,829	155,225	192,736	910,703	1,787,302
	増減率	27.8	50.9	19.8	3.6	-4.5	2.6	14.5	-7.9	1.5	2.9	-1.1	-0.8	2.8	-0.5	6.3
	FY22	163,077	131,149	160,958	156,355	124,811	172,270	908,620	161,241	163,985	130,649	134,243	165,277	199,973	955,368	1,863,988
	増減率	6.7	-9.6	6.3	0.0	10.2	9.3	3.7	4.9	11.4	-0.3	2.6	6.5	3.8	4.9	4.3
成約率	FY20	46.9	53.3	64.5	69.4	71.0	69.6	61.9	66.7	63.6	61.4	63.7	64.6	65.0	64.3	63.2
	FY21	61.2	64.0	63.9	62.9	67.6	67.9	64.4	68.3	69.6	65.4	67.4	66.4	63.2	66.5	65.4
	FY22	59.4	66.1	67.5	69.9	72.1	69.5	67.0	64.6	61.6	57.0	59.6	58.5	57.2	59.6	63.0

Copyright©2023 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

※JBAの実績は含めておりません。

補足資料：業界動向



業界動向

(単位：千台)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
新車登録台数	1,225	1,396	1,045	1,371	836	1,192	1,198	1,429	1,034	1,015	968	1,197	888	1,034	1,080	1,381
前年同期比	2.8%	8.1%	-16.3%	-10.2%	-31.8%	-14.6%	14.6%	4.2%	23.8%	-14.8%	-19.2%	-16.3%	-14.1%	1.9%	11.6%	15.4%
中古車登録台数	1,672	1,720	1,627	1,908	1,557	1,705	1,694	1,948	1,654	1,566	1,560	1,784	1,543	1,488	1,485	1,775
前年同期比	-0.0%	6.9%	-4.5%	-3.0%	-6.9%	-0.8%	4.1%	2.1%	6.2%	-8.2%	-7.9%	-8.4%	-6.7%	-5.0%	-4.8%	-0.5%
中古車輸出台数	335	314	346	290	186	270	314	269	335	315	304	267	325	291	353	320
前年同期比	-8.5%	2.1%	-0.6%	-3.0%	-44.3%	-13.9%	-9.3%	-7.0%	79.4%	16.7%	-3.3%	-0.9%	-3.0%	-7.6%	16.2%	19.8%

オートオークション市場

(単位：千台)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
出品台数	1,982	1,819	1,833	1,921	1,758	1,624	1,801	1,893	1,861	1,658	1,593	1,779	1,773	1,572	1,824	2,105
前年同期比	2.3%	6.9%	0.7%	-4.4%	-11.3%	-10.7%	-1.7%	-1.5%	5.9%	2.1%	-11.6%	-6.0%	-4.7%	-5.2%	14.5%	18.4%
成約台数	1,238	1,193	1,165	1,217	982	1,156	1,207	1,281	1,246	1,138	1,111	1,223	1,200	1,124	1,177	1,318
前年同期比	0.5%	6.9%	-0.9%	-5.6%	-20.7%	-3.0%	3.6%	5.3%	26.8%	-1.6%	-8.0%	-4.5%	-3.7%	-1.3%	6.0%	7.8%

※輸入車の公表数値の修正により、数値を適正化しております。

補足資料：オートオークション



(単位：百万円)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	16,358	15,415	15,359	16,217	13,302	14,944	15,864	16,937	16,343	15,585	15,664	17,264	16,766	16,401	17,130	19,006
前年同期比	0.0%	1.5%	-2.3%	-6.8%	-18.7%	-3.1%	3.3%	4.4%	22.9%	4.3%	-1.3%	1.9%	2.6%	5.2%	9.4%	10.1%
営業利益	8,986	8,538	8,695	9,215	6,835	8,862	9,535	10,229	10,267	9,585	9,493	10,871	10,462	9,972	10,322	11,511
前年同期比	-3.4%	2.8%	-1.0%	-7.2%	-23.9%	3.8%	9.7%	11.0%	50.2%	8.2%	-0.4%	6.3%	1.9%	4.0%	8.7%	5.9%

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表しております。

		2019				2020				2021				2022			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
出品台数（千台）		771	689	706	756	631	605	685	738	713	647	637	733	711	644	744	857
成約台数（千台）		460	436	422	452	342	423	439	476	449	427	431	478	455	453	455	499
成約率	USS	59.7%	63.3%	59.9%	59.8%	54.2%	69.9%	64.1%	64.5%	63.0%	65.9%	67.8%	65.3%	64.0%	70.3%	61.2%	58.2%
	市場平均（USS除く）	64.3%	67.0%	65.9%	65.6%	56.9%	72.0%	68.9%	69.7%	69.4%	70.4%	71.0%	71.2%	70.2%	72.3%	66.8%	65.6%
1台当たり成約車両金額																	
	USS（千円）	645	708	697	703	643	794	811	795	830	907	936	961	1,000	1,170	1,068	965
	市場平均（USS除く）（千円）	423	439	444	463	401	481	455	484	474	494	518	513	530	581	562	536
手数料	出品手数料総額（百万円）	3,869	3,507	3,741	3,928	3,193	3,229	3,757	3,971	3,908	3,629	3,602	4,057	3,935	3,659	4,182	4,793
	1台当たり手数料（円）	5,040	5,118	5,333	5,230	5,083	5,364	5,509	5,413	5,505	5,630	5,685	5,566	5,556	5,707	5,645	5,617
	成約手数料総額（百万円）	3,689	3,564	3,498	3,747	2,791	3,574	3,706	4,015	3,780	3,613	3,662	4,031	3,811	3,807	3,815	4,286
	1台当たり手数料（円）	8,054	8,225	8,335	8,339	8,212	8,503	8,493	8,485	8,461	8,506	8,530	8,471	8,418	8,447	8,418	8,633
	落札手数料総額（百万円）	5,546	5,365	5,216	5,630	4,408	5,397	5,649	6,118	5,817	5,549	5,540	6,168	5,863	5,789	5,886	6,446
	1台当たり手数料（円）	12,040	12,305	12,340	12,443	12,888	12,759	12,864	12,859	12,959	13,004	12,837	12,898	12,898	12,776	12,922	12,918
	現車会員	48,767	48,886	48,055	48,182	48,104	48,242	47,859	48,058	48,170	48,345	48,121	48,362	48,428	48,590	48,292	48,490
その他	うちC I S会員	31,802	31,983	32,031	31,998	32,059	32,283	32,392	32,538	32,799	33,042	33,219	33,359	33,582	33,817	33,898	33,934
	うち衛星T V会員	2,435	2,404	2,377	2,342	2,300	2,267	2,227	2,197	2,163	2,132	2,109	2,081	2,048	2,020	1,998	1,981
	外部落札比率	46.5%	48.8%	47.9%	49.0%	55.0%	53.9%	52.8%	52.9%	53.1%	53.7%	52.0%	52.4%	52.0%	52.5%	51.0%	50.3%

※JBAの実績は含めておりません。

※拠ユーストカーの公表数値の修正により、市場平均（USS除く）の数値を適正修正しております。

補足資料：中古自動車等買取販売／リサイクル／その他



中古自動車等買取販売

(単位：百万円)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,067	2,246	2,389	2,396	1,486	2,085	2,469	2,605	2,110	2,119	2,313	2,757	2,302	2,747	2,591	2,750
前年同环比	-8.3%	-3.6%	0.9%	-12.8%	-28.1%	-7.2%	3.3%	8.7%	42.0%	1.7%	-6.3%	5.8%	9.1%	29.6%	12.0%	-0.3%
営業利益	18	85	27	-27	-83	181	139	33	18	67	76	-25	12	199	11	-93
前年同环比	-62.3%	13.4%	-32.3%	-	-	112.4%	413.3%	-	-	-63.1%	-45.3%	-	-34.3%	197.3%	-84.6%	-

リサイクル

(単位：百万円)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,291	1,138	1,501	1,229	1,179	1,075	1,250	1,324	1,892	1,687	1,841	1,817	2,041	2,121	2,225	2,594
前年同环比	7.4%	-2.8%	19.5%	-3.9%	-8.7%	-5.5%	-16.7%	7.7%	60.5%	56.8%	47.3%	37.2%	7.9%	25.7%	20.8%	42.8%
営業利益	133	59	74	42	-43	81	148	189	340	249	304	248	321	205	278	527
前年同环比	-16.7%	-46.1%	-38.5%	-52.7%	-	37.6%	99.8%	344.8%	-	205.5%	105.3%	30.8%	-5.3%	-17.6%	-8.6%	112.7%

その他

(単位：百万円)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	143	131	141	115	88	116	102	43	24	21	19	19	25	22	31	19
前年同环比	-17.8%	-18.0%	-1.9%	-13.4%	-38.2%	-11.5%	-27.3%	-62.4%	-72.0%	-81.3%	-81.4%	-54.2%	3.7%	3.9%	66.8%	-2.9%
営業利益	21	14	19	4	0	16	8	-1	17	15	12	13	19	16	-1	-7
前年同环比	-39.6%	-57.7%	-4.3%	-63.8%	-98.8%	8.2%	-55.6%	-	6744.3%	-5.5%	45.0%	-	12.7%	10.2%	-	-

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表しております。